

▽2016・9・29-初心者向け「動画撮影講習会：第2回」

日時：2016.8.29（月）18：30～20：00 場所：たづくり 801

参加者：9名 講師：今江知延（ちょうふネットテレビ）

資料：レジュメ ・持ち寄った動画（USB/SDカード等）

・本日の運営会議の趣旨（司会：鍛冶（環境活動団体交流会事務局））

6.7 の運営会議において動画撮影のコツを学習し、各自活動のお湯酢などを撮影してみることにした。本日はその成果を持ち寄り、講師にアドバイスをいただき、今後の進め方や、3月に行われる交流会での活用の仕方を考える。

1. 前回のおさらいと持ち寄った動画のチェック

- ・凸凹森の会からお二人が初参加であることもあり、撮影のコツをざっとおさらい。
- ・その後 鍛冶・志村・安部の持参した動画を見ながら講師のアドバイスをうかがう。（里のカメラ用カードは読みこめなかった。メモリー様式が合わないのかもしれない。）
- ・江刺が持参したカニ山の会の DVD（水野撮影）はパソコンでしか見られない形式。⇒元画像の方が良い。

<講師から 撮影のコツなど>

- ・スマホは、横置きで録画すること。縦に撮影すると黒い画面がでてしまう。
- ・何を撮りたいかをはっきりさせておく。例えば作業のようすなら人物に寄って撮るなど対象をはっきりさせる。また、全体の風景を撮って、1度止めてから花や昆虫というように、引きとアップの両方を撮れば、ズームはなくても良い。
- ・動かす、止めるを明確にする。・撮り始め、撮り終わりは、静止画像を4～5秒必ず入れること。
- ・スマホなのであまりズームにすると画像が荒れる。（遠景の鳥などはむずかしい）
- ・TVの短いニュース画像などを見て、撮り方の参考にすると良い。
- ・ともかく色々撮って、自分のパソコンで見ってみること。

2. 今後に向けて

- ・保全作業の合間に撮影するのは難しい。撮影するときはそれに徹する人が必要かもしれない。
- ・全体の風景や草花などは作業日以外にとっておくとよい。
- ・プレート形式で雑木林保全団体だったら、入口→看板→朝の打ち合わせ など撮影のやり方を決めてしまったらどうか。
- ・1つの団体（例えばカニ山の会）に見本を作成してもらい、それに合わせて他団体も撮影してはどうか。→カニ山、9月はこどもあそび博に参加、10月も雨だったら中止もありえるのでどの程度すすめられるか不明なので各団体で工夫して撮ってみて欲しい。（完成作品は1団体4～5分になるつもりで）
- ・3/5（日）の交流会で活用するには、再度集まって確認が必要。
⇒10月初めには今江さんにデータファイルを渡し、11月には今江さんが少し編集した物を、集まった人を見て、交流会のやり方について考える。
- ・交流会までに完璧に完成しなくてもできたものを見て、PRの方法や記録のやり方などその場で活用の仕方を話し合ったらどうか。そのためには雑木林保全団体や川の活動団体以外もできるだけ参加してもらおう。

次回 運営会議 11月初旬 データ鑑賞ができる部屋を用意する